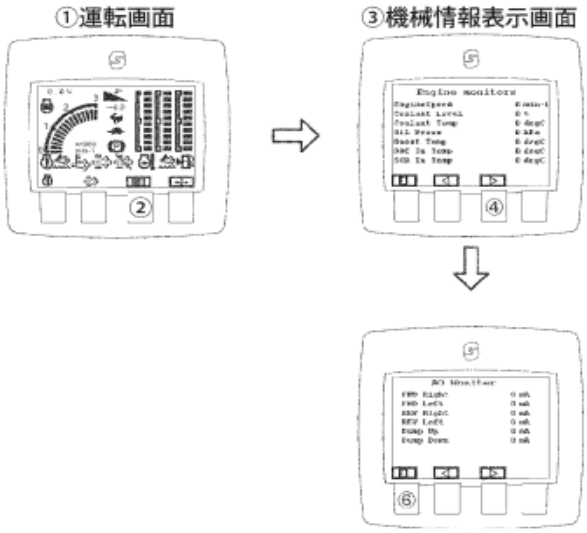
メーカー名：　㈱加藤製作所　　令和8年度（公社）建設荷役車両安全技術協会　不整地運搬車

適用範囲		モデル名		IC55
		適用号機		CE004011-
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドリング ローアイドリング (冷却水温) (作動油温)	 min^{-1} min^{-1} (℃) (℃)	 2600±25 900±20
		弁すき間 吸気弁 隙間 排気弁 隙間 (測定条件)	 mm mm (℃)	 1.5~1.9 2.0~2.3
		圧縮圧力又は気筒間圧縮圧力差 MPaとkgf/cm2の両方で表記 (冷却水温) (回転速度)	MPa kg/cm2 (℃) (rpm)	2.95~3.13 30.0~32.0 200
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	MPa kg/cm2	コモンレール
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件] kgとNの両方で表記	mm (kg) N	オートテンショナー
動力伝達装置	クラッチ 駆動用ベルト	クラッチの遊び 駆動ベルトの張り	mm たわみ量 mm	−
	クラッチペダル又はインチングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ ペダルの遊びとストローク ペダルの全ストローク	mm mm mm	−
走行装置 (別名クローラーベルト)	走行性能	最高速度　　ゴム	秒/６ｍ	2.1±0.3
	履帯 (クローラベルト)	ゴムベルト　　張り (たわみ量) [測定方法・条件(図面番号表示)]	mm	20~30mm
走行装置 (ホイール式に限る)	タイヤ空気圧　タイヤ（ホイールを含む）	フロント	kPa (kgf/cm^2)	
		リヤ	kPa (kgf/cm^2)	
制動装置	走行ブレーキ	ペダルの遊び	mm	
		踏み残り代	mm	
		制動能力 [制動初速度]	m以内 km/h	
	駐車ブレーキ	停止可能勾配 [負荷状態]		15°
油圧装置	シリンダ自然伸縮 (自然沈下量)	ダンプシリンダ 作業装置姿勢 (測定時間) (作動油温)	mm min (℃)	15以下 縮み量 10 (50±5)
	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 性能測定条件 (設定モード等)	MPa kgf/cm2	40.0 408 ハイアイドル 別紙参照

★印：新車基準値を表す。

メーカー名：㈱加藤製作所

項目	測定方法
油圧回路設定圧力	



⚠危険

調整作業中は、走行が絶対しないように安全に注意してください。
1. スプロケットとシューの間に鉄棒を噛ませ走行をロックします。
2. パーキングスイッチを押しパーキングブレーキを掛けてください。作業中は絶対に解除しないでください。
3. エンジンを始動し、走行レバーを操作し、走行が確実にロックしていることを確認してください。

条件	・ エンジン回転数：最高回転 ・ 油圧温度：50 ±5℃ ・ 油圧ゲージ：モニターによる測定。油圧センサは走行モータに組み付け済み
測定および調整方法	1. 運転画面①になっているのを確認して、右から 2 つ目の[≡]ボタン②を 1 回押します。 2. 画面が機械情報表示画面③に切換わったのを確認します。 3. 1. で押した同じ右から 2 つ目の[▷]ボタン④を 3 回押します。 4. 機械情報画面が AI Monitor 2 ⑤に切換わったのを確認します。 5. エンジンを始動します。パーキングブレーキを掛けます。圧力測定中は解除しないでください。 6. 圧力測定したい方向へ、ジョイスティックを操作します。圧力をモニターで確認します。 7. 測定が完了しましたら、画面⑤の左から一つ目の[◧]ボタン⑥を押します。 8. エンジンを停止します。

メーカー名：㈱加藤製作所

項目	測定方法
クローラベルト測定方法	ゴムクローラ張りの点検 1. キャリアを平坦で堅い地盤に置いてください。 2. アイドルタンブラ (1) とアッパローラ (2) のゴムクローラ上に、長さが約 1.5 m の角材を渡し、人（60 kg）を中央部に乗せたときのスキマを点検してください。 スキマ a は、20 ～ 30 mm が適正の張りです。 